

刊行にあたって

歯科医療技術の発展とともに、歯周治療やインプラント治療が積極的に行われるようになり、う蝕治療を中心とした従来の歯牙硬組織に対する治療から、外科的侵襲を伴った硬・軟組織への治療が一般化してきました。日常診療においても、軟組織を切開・縫合するタイミングは多くなり、抜歯をはじめ、歯周外科、インプラントなど、多岐にわたります。軟組織への切開、縫合、結紮といった一連の外科処置は、正確さとスピードが必須であり、手技の善し悪しは治療結果へ直結します。このため、正確な知識と技術の習得が早急に求められています。

口腔内で行われる切開、縫合、結紮といった一連の外科処置は見えにくいものです。そのため、見よう見まねでなんとなく臨床実践しがちです。しかしながら、切開線1本、縫合糸1本、縫合法、結紮法にもすべて根拠があります。本書では、デンタルスーチャリングを取り上げ、使用するインスツルメントの選択、縫合糸の種類および選択、抜歯からインプラント・歯周外科に至る切開・縫合・結紮について解説しています。若手歯科医師や口腔外科処置を苦手とする歯科医師でも明日から取り組めるように、また、日ごろスーチャリングを行っている先生の振り返りにもお役に立てるよう、基本テクニックから応用まで、多くの図と動画を使用し、解説しました。明日の臨床に直結する内容になっています。多くの先生のお役に立てることを期待します。

2019年9月

松田 哲